

# 友だちの撮った写真を ホームページに使う

社会  
3・4年

例えば社会科の地域の調べ学習をまとめる学習活動の中で、友だちが撮影した写真を使いたくなる場面を想定している。これは「段階的指導モデル」の「A」に該当する事例である。

## 5分の指導でモチベーションが高まる



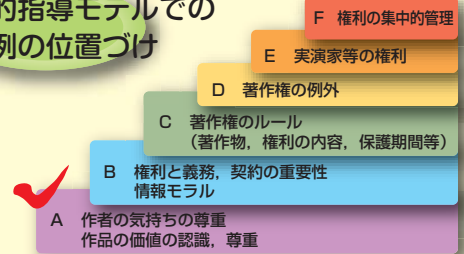
### 「著作権教育」の学習のねらいと指導のポイント

- 写真など作品には著作権があり、勝手に使ってはいけないことを知らせる。
- 作品には作者の工夫や苦勞が込められていることに気付かせ、黙って使うことの問題点に気付かせる。
- 了解をもらえば使えることを知らせる。
- 了解のもらい方を身につける。
- 了解をもらうことでより良い作品になったことを体験させる。

### 他の教科への応用例

- 総合的な学習の時間や理科などでの、調べたことをまとめる活動

## 段階的指導モデルでの 本事例の位置づけ



## もっと時間をかけて、ていねいに指導する場合には

学習内容	教師の発問と子どもの反応	留意点
●地域の〇〇について調べたことを、分かりやすく発表するときはどうしたらいいか考える。	<p>発問例：調べたことを分かりやすく伝えるには、どんな工夫をしたらいいでしょうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詳しい文章を書く。 ・絵を描く。 ・写真を使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を使うと、分かりやすいことを確認する。</li> </ul>
●友だちの撮った写真を使うときの注意について話し合う。	<p>発問例：写真を用意するにはどうしたらいいでしょうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で撮影する。</li> <li>・先生が撮った写真を使う。</li> <li>・友だちが撮った写真を使う。</li> <li>・インターネットの写真を使う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他人（教師や友だち）が撮った写真を使うことを意識させる。</li> </ul>
	<p>発問例：他の人が撮った写真を使いたいときはどうしたらいいですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こっそり使う。</li> <li>・写真を撮った人にとわる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝手に使われた人の立場になって考えさせる。</li> </ul>
	<p>発問例：勝手に使ってはいけないのは、なぜですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦労して撮影したから。</li> <li>・勝手に使われたらいやな気分だから。</li> </ul>	
●まとめをする。		
●伝わりやすい写真を吟味して、発表資料にまとめる。	<p>他人が撮った写真を使いたいときは、了解をとってから使しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・了解をもらっているか確認する。</li> </ul>

### この事例の実践に参考となる教材・資料

文化庁「著作権なるほど質問箱」（「引用」で検索）

<http://chosakuken.bunka.go.jp/naruhodo/>

文化庁「楽しく学ぼうみんなの著作権」（小学生のための著作権教材 コピーしてはいけないの?）

<http://chosakuken.bunka.go.jp/tanoshiku/>



### 板書計画

## 写真を使ってわかりやすく伝えよう

学習問題

他人がとった写真を利用したいときは、どうしたらいいのだろう。

なぜ了解が必要なの？

- ・苦労してさつ影したから
- ・勝手に使われたらいやな気分になるから
- ・写真をとった人のものだから

- ・自分でとった写真 → OK
  - ・先生がとった写真
  - ・友達がとった写真
- 使っていていいことわる

校内 LAN も

まとめ

- ・使いたいときは了解をもらおう。
  - ・勝手に、使わない。
- OKなら使ってよい。